

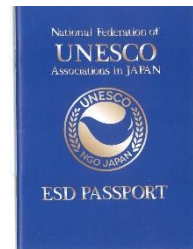
3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

<年間>

○ユネスコ協会ESDパスポートの活用

全校生徒にESDパスポートを配付し、汐川干潟をはじめとした自然保全活動や、リサイクル活動、清掃美化活動などに取り組んだ際に記入するようにし、継続的な活動へつなげるようにした。



<4月>

○「干潟講話」

講師に藤岡エリ子先生（汐川干潟を守る会）をお招きし、汐川干潟の現状や生息生物、これからの課題などをスライドを使ってわかりやすくご講話いただいた。本校の環境教育の一環として、どのように関わっていけばよいか、貴重な指針を示していただいた。



<5月>

○「春の観鳥会」

藤岡エリ子先生をはじめ、汐川干潟を守る会のメンバーの方も多数参加され、観察の仕方のレクチャーや鳥の名前などていねいな解説をしていただいた。生徒たちは、飛来する鳥類の種類が多いのに驚いていた。



<6月>

○「汐川干潟保全活動」

昨年度より、豊橋市環境保全課と協力して「汐川干潟保全実践プロジェクト」として、アサリが生息できる干潟への再生に向けた取り組みをしている。今年度は、昨年度設置した牡蠣カラをネット詰めにしたものや、土壌に埋設するケアシェルなどの仕掛けの検証活動や干潟に生息する生物調査を行った。この日は、汐川干潟を守る会の方々の他、豊橋市環境保全課の方も駆けつけ、活動の様子を観察された。様々な方面からの関心が高い活動だということを実感した。



<9月>

○「汐川干潟講座」

豊橋市農業委員会会長 鈴木 隆年 様を招いて、汐川干潟について講話をしていただいた。昔はとても澄み切った三河湾であり、そこら中でアサリがたくさん採れたことなど、鈴木様が幼少の頃の豊かな干潟の姿を話していただいた。現状とは大きく異なる内容に、生徒は興味津々の表情で聞き入っていた。「自分たちの手で何とか復活できないか？」という生徒の意識も高まった。後半は、Q & A形式で会は進み、活発な質疑応答ができた。



○「環境学習デイ」

本校では、平成26年度から2年生を中心に「干潟保全実践プロジェクト」と題して、校区にある汐川干潟の保全に取り組んでいる。9月に行った環境学習デイでは、タイアップしていただいている市役所環境保全課の方々を講師にお招きし、全校オリエンテーションを行った。その後、汐川干潟に歩いていき、2年生は昨年度仕掛けたゾーンの生物調査や、各クラスで新たに考えた仕掛けの設置を行った。3年生は昨年度設置した仕掛けの検証を行ったが、残念ながらアサリの稚貝は生息していなかった。また、1年生は汐川干潟の清掃活動を行い、ゴミの多さに驚いていた。



<10月>

○「文化祭での発表会」

汐川干潟にアサリを取り戻そう。今年度取り組んできた干潟保全実践プロジェクトの活動成果を発表した。アサリの稚貝はいなかったものの、いろいろな生物が仕掛けに生息していたことなど少しずつ成果が出てきていることなどを発表し、共通理解を図った。



○「汐川干潟引き継ぎ会」

2年生が活動してきたこと、学んできたことを1年生に伝える引き継ぎ会を行った。1年生は、2年生の先輩が発表する姿を見て、汐川干潟に改めて興味をもつとともに、自分たちも汐川干潟を保全していかなければという思いを強くもつことができた。



<11月>

○「第2回東三河 ESD・ユネスコスクールフォーラム参加」

愛知大学記念会館3階で ESD・ユネスコスクールフォーラムが開催され、章南中学校から生徒会執行部が参加をした。実践発表では、「汐川干潟の環境保全プロジェクト」について、その歴史と現状報告、将来の展望について発表した。



○「汐川干潟を保全する会 発会式参加」

杉山地区市民館において、「汐川干潟を保全する会」が地域組織として正式に発足した。発会式には、本校の ESD 活動に講師として指導助言をいただいている鈴木隆年氏、藤岡エリ子氏をはじめ、校区自治会長、市議会議員、市環境保全課長様も臨席された。その中で、本校の生徒会執行部が東三河 ESD ユネスコフォーラムに続いて、日頃の汐川干潟保全活動の状況を報告した。



○「冬の観鳥会」

1年生が、汐川干潟に飛来する渡り鳥を観察した。「汐川干潟を守る会」の方を講師に招き、事前に覚えた干潟に飛来する鳥を熱心に観察していた。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

)